

(令和元年5月10日集計)

## I. 概況

内閣府が4月18日に公表した月例経済報告で、「景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。先行きについては、当面、一部に弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」としている。

一方、県内中小企業では、前年同月比で景況・売上ともに改善、収益・資金は悪化し、前月比では、景況・売上・収益・資金のいずれも悪化した。人手不足などの課題を抱える中、新年度から本格的に始まる働き方改革への対応などの声も多く聴かれ、県内中小企業の経営環境は依然として厳しい状況が続いている。

## II. 業種別状況等

### <製造業>

#### ① 繊維・同製品

4月の生産数量は、前月比104.5%、前年同月比83.5%となった。ゴールデンウィークによる長期休みの影響に不安感がある。

#### ② 紙・紙加工品

4月から施行された「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」ついて組合員は「新しい働き方の在り方」に基づいて進めなければいけない。

#### ③ 印刷

昨年よりは忙しい時期は長く続いたが5月以降の仕事量が不透明で油断できない。それと仕事量がある会社とない会社がハッキリして来ている感じ。

#### ④ 鉄鋼・金属

モノを作る人手が不足していることは常態化しているが、さらにモノを運ぶドライバー不足の影響で、受注を受け期限内に製品化したものの、それを運ぶ業者不足で納品待ちのモノが増え、結果的に在庫を抱えるかたちとなり、資金繰りが昨年度に比べ苦しくなっている。

#### ⑤ 一般機器

標準品である物流機器の受注は引き続き好調を維持している。流通業界向け大口案件で引き続き工場は稼働率が高い状態が続いているが、仕様決定が遅れており納期にしわ寄せがきている。在庫も高止まりしており、当面この状態が続くと予測する。

## ⑥ その他

気候が良くなり、釣りシーズンが到来したこともあって多少売上が微増状態でしたが、今後、初めての大型連休の気候と釣り場へ向かう顧客が、どれほど増加するかが問題です。令和の新時代となってレジャー産業の動向に注目しています。

## <非製造業>

### ⑦ 卸売業

新年度になり、5月から元号が令和に変わるので長期休暇前は少し慌ただしくはありましたが組合・組合員共に大きな変化はありませんでした。今年度は消費税率の変更が景気等、色々な所に悪影響を与えていると考えています。

### ⑧ 小売業

4月下旬のGW前半も全体的に売上・客数ともに厳しい結果となり4月全体でも同様の結果となった。しかし、不振であった衣料部門が復活傾向なところはプラス要因であった。

### ⑨ 商店街

前半の売上高は順調でしたが後半は天候不順もあり良くなかった様です。GWは外出も多く10連休は商店街に取って苦戦を覚悟に新たな気持ちで「令和」が景気の良い時代になる様に祈っています。

### ⑩ サービス業

4月の新車販売台数は、登録車と軽自動車合わせて37万8687台で3.4%増となった。登録車は、2.5%増、軽自動車は、4.9%増で両社とも増加となった。

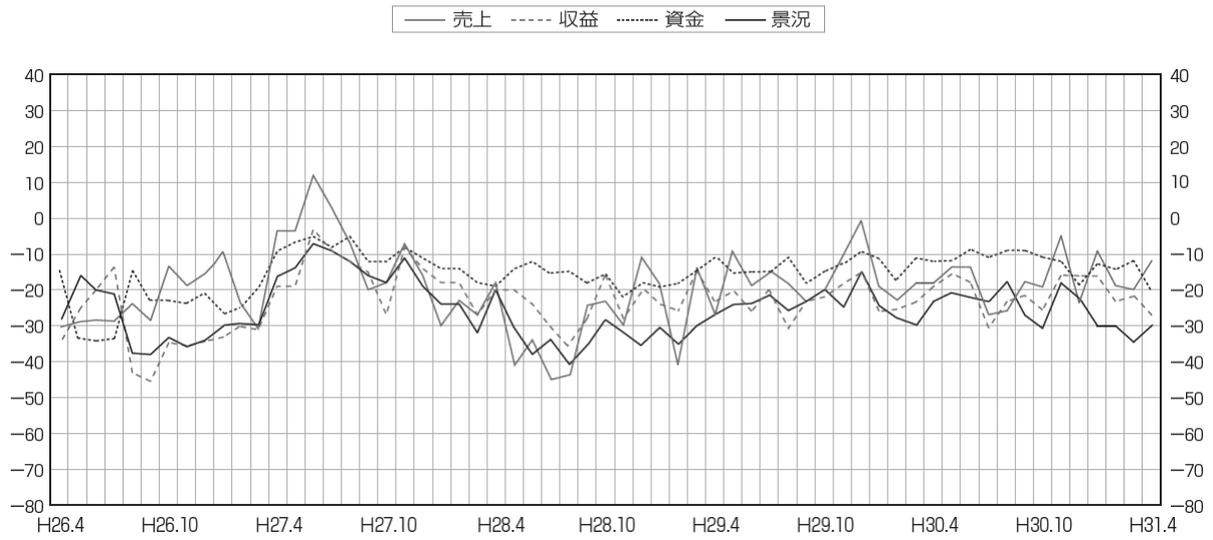
### ⑪ 運輸業

10連休前に相当量の貨物が動くかと警戒したがさほどでも無かった。例年4月になると貨物量が大きく減る傾向がここ数年続いているが、結局、今年も連休に関係なく4月分の貨物量しかなかった。22~26日の間はトラックが不足し多少の混乱はあったが想定の範囲内であった。

### ⑫ その他

働き方改革による取り組みが、経営に大きな課題を投げ掛けています。一企業の問題で無く、業界全体の仕事の流れに及びます。顧客からの仕事をこなすには、業界上げての取り組みが必要ですし、何よりお客様、社会全体の理解と協力も必要になります。

# 景気動向（前年同月比）の推移（D I 図）



業種 \ 項目	景況	売上	収益	資金
製造業	-27%	-8%	-27%	-22%
非製造業	-32%	-16%	-27%	-19%
総合	-30%	-12%	-27%	-20%

製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
食料品				
繊維・同製品				
木材・木製品				
紙・紙加工品				
出版・印刷				
化学・ゴム				
窯業・土石製品				
鉄鋼・金属				
一般機器				
電気機器				
輸送用機器				
製造業その他				

非 製 造 業				
項目 業種	景況	売上	収益	資金
卸売業				
小売業				
商店街				
サービス業				
建設業				
運輸業				
その他				

【凡例】



快晴

基準(DI値)

30以上



晴れ

10以上～30未満



曇り

-10以上～-10未満



雨

-30以上～-10未満



大雨

-30未満

【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

#### 【お問い合わせ先】

兵庫県中小企業団体中央会

担当：事業部 情報企画課

TEL：078-331-2045

#### 【全国版の月次景況調査について】

全国中小企業団体中央会が毎月20日頃に公表しています。

詳細は下記URLをご覧ください。

<http://www.chuokai.or.jp/keizai.aspx>